

こっこめ通信 06 2015

「気をつけて見ないとダメ」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

5月上旬に発生した台風6号と7号。5月までに台風が7個発生したのは、気象庁が1951年の統計開始以降2番目に速いペースとなっています（1971年の9個が最高）。黒潮の蛇行による冷水塊の影響で島の回りの海はとても冷たかったのですが、ようやく蛇行が終わり水温が一気に上昇しました。海水温が高いと発達したまま島に接近してしまうので、このままのハイペースでの発生はご勘弁願いたいものです。

さて、今回は「今年は“つばきむし”が大発生！」「島にやってくるサギの仲間(ver. 2)」「八丈島で記録のなかった鳥」についてのお話です。

今年は“つばきむし”が大発生！

去年の今頃はマイマイガの大発生を紹介しましたが、今年は「チャドクガ」が大発生しています。島ではツバキの葉に見られるため、「つばきむし」と呼ばれています。卵から成虫まで毒針毛を持ち、さわると痛みやかゆみ、腫れなどの皮膚炎を引き起こします。公園内では5月4日の巡回時に初めて見付き、すぐにビジターセンターのホームページで注意を喚起しました。その後も次々と発見され、多い日には1日15箇所も発見されています。25日までには100箇所以上チャドクガがついた葉の駆除を行っています。右地図の赤く示した場所にツバキがたくさん植えられています。特に今年は徳里山の下（赤丸内）での発見が多いです。

卵から孵ってすぐのチャドクガの幼虫たちは葉の裏側に固まっているため見えにくく、大きくなるにつれて表側からでも姿が確認できるようになります。島では5月と7月下旬に幼虫が見られ、秋に羽化した成虫が産んだ卵で越冬します。

“つばきむし”が多いのは植物公園だけではないようなので、今年はツバキの木に近づかない方が安全ですね。脱皮殻でも炎症を起こすので時期を過ぎても注意が必要です！



チャドクガ以外で気をつけなければいけない「ガの幼虫」！！ in HACHIJOJIMA



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

島にやってくるサギの仲間 (ver. 2)

毎年、春と秋の渡りの途中に立ち寄るサギの仲間たち。今年の春の傾向としては、ゴイサギが少なく、亜種チュウダイサギが多く渡ってきています（ダイサギの亜種チュウダイサギは、脚の色などから判断しています）。また、3月中旬にはアオサギが大群で押し寄せたこともありました（こっこめ通信 4月号で紹介）。5月末になっても大賀郷園地には、アマサギ、コサギ、チュウサギ、亜種チュウダイサギ、アオサギが羽を休めています。また、まだ白いアマサギもいて、見分けがつけにくくなっています。そこで、大きさを比較するため、近寄った時を狙って撮影してみました。サギまでの距離が微妙に違うので参考程度にご覧ください。



こっこめ通信 2005 年 4 月号で「島にやってくるサギの仲間」を紹介しました。それから 10 年経ち、新たに右写真の 3 種のサギの記録が追加され、15 種に増えました。

	和名	学名	S	N	V
サンカノゴイ属	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris stellaris</i>		●	○
ヨシゴイ属	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis sinensis</i>	●	●	●
	オオヨシゴイ	<i>Ixobrychus eurhythmus</i>		●	
	タカサゴクロサギ	<i>Ixobrychus flavicollis flavicollis</i>			○
ミソゴイ属	ミソゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i>		●	●
ゴイサギ属	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax nycticorax</i>	●	●	●
ササゴイ属	ササゴイ	<i>Butorides striata amurensis</i>	●	●	●
アカガシラサギ属	アカガシラサギ	<i>Ardeola bacchus</i>	●	●	●
アマサギ属	アマサギ	<i>Bubulcus ibis coromandus</i>	●	●	●
アオサギ属	アオサギ	<i>Ardea cinerea jouyi</i>	●	●	●
	ムラサキサギ	<i>Ardea purpurea manilensis</i>		●	○
	ダイサギ (亜種ダイサギ)	<i>Ardea alba alba</i>	—	—	?
	ダイサギ (亜種チュウダイサギ)	<i>Ardea alba modesta</i>	●		●
コサギ属	チュウサギ	<i>Egretta intermedia intermedia</i>	●	●	●
	コサギ	<i>Egretta garzetta garzetta</i>	●		●
	クロサギ	<i>Egretta sacra sacra</i>	●	●	●

S : 高木真一ほか、八丈島の鳥類 2 年間の記録。1986. Strix5 : 74-79
 N : 磯部清一、伊豆諸島の鳥類。1990. 日本の生物 4(2) : 12-19
 V : ビジターセンターでの記録。(1992 年 10 月～2015 年 4 月)
 学名・和名 : 2012. 日本鳥類目録改訂第 7 版

● : 2005 年 4 月
 までの記録
 ○ : 2005 年 4 月
 以降の記録



八丈島で記録のなかった鳥

5月になってから、過去に八丈島で記録のなかった 2 種類の鳥が確認されたので紹介します。

2015 年 5 月 12 日、大賀郷園地で見つかったのは「インドハッカ」。インドハッカの生息地は、インド・中国南部・タイ・マレーシア・インドネシアですが、オーストラリアやニュージーランド、ハワイなどに移入されています。日本でも関東地方や南西諸島などで確認されています。八丈島までどのような経路でやって来たかは定かではありません。移入した地域から渡ってきたのか？分布地から渡ってきたのか？インドハッカに訊いてみたいものです。(5月25日までは確認)

2015 年 5 月 21 日、鴨川河口域で見つかったのは「亜種シベリアアオジ」。確認されたのはオスで、亜種アオジと比べ頭部が灰黒色で腹部の黄色みがありません。水の流れていない場所で、ちょこちょこと動き回り、餌をついばんでいました。亜種アオジは秋に島に渡って来て、越冬する個体もあります。この冬は個体数がとても多かったです。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や虫が見られるかも観察しています。今回は5月10日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成27年第5回） 参加者：小島、沖山美、金田、沖山三、VC菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			36	トウバナ	花と実	13	ヒメユズリハ	雄花が目立つ
1	アオスゲ	実	37	トキワツユクサ	花	14	ホウライカズラ	実の虫コブ
2	アワゴケ	花	38	トキワハゼ	花	シダ植物		
3	イヌガラシ	花と実	39	ドクダミ	花	1	イシカグマ	新葉
4	イヌタデ	花	40	ニラバラン	花	2	ウチワゴケ	
5	イワニガナ	花	41	ニワゼキショウ	花と実	3	オオイタチシダ	
6	ウスベニチチコグサ	花	42	ヌカススキ	実	4	オオタニワタリ	新葉が展開
7	ウスベニニガナ	花	43	ヌカボ	実	5	オニヤブソテツ	
8	ウラジロチチコグサ	花	44	ノゲシ	花	6	カニクサ	
9	オオシマカンスゲ	実	45	ハキダメギク	花	7	シチトウハナワラビ	新しい株
10	オオニワゼキショウ	花と実	46	ハチジョウテンナンショウ	実	8	スギナ	
11	オオバコ	花と実	47	ハルジオン	花	9	タチクラマゴケ	胞子葉
12	オニタビラコ	花	48	ヒナギキョウ	花と実	10	タチシノブ	胞子葉
13	カタバミ	花と実	49	ヒメコバンソウ	実	11	タマシダ	
14	カニツリグサ	花	50	ヒメヨツバムグラ	花と実	12	ナチシケシダ	
15	キュウリグサ	花	51	フウトウカズラ	雄花が目立つ	13	ノキシノブ	
16	キランソウ	花	52	ヘラバヒメジョオン	蕾	14	ハカタシダ	
17	クサイ	若い実	53	ミツバ	蕾	15	ハチジョウカナワラビ	
18	ケキツネノボタン	花と実	54	ムラサキカタバミ	花	16	ハチジョウシダ	新葉
19	コケミズ	花と実	55	ヤエムグラ	花	17	ハチジョウベニシダ	
20	コケリンドウ	花	56	ヤマヌカボ	実	18	ヒトツバ	新葉が目立つ
21	コナスビ	花	57	ヨツバムグラ	花と実	19	ホシダ	
22	コマツヨイグサ	花	木本			20	ミゾシダ	
23	コメツブツメクサ	花	1	アオキ	若い実	今回は、シダ植物20種を含む91種の植物を観察しました。		
24	コモチマンネングサ	花	2	イヌビワ	実			
25	シチトウスミレ	閉鎖花	3	オオシマザクラ	若い実			
26	シマササバラ	蕾	4	オオバヤシャブシ	実			
27	シロバナマンテマ	花	5	ガクアジサイ	咲き始め			
28	スズメノカタビラ	実	6	カジイチゴ	花と実			
29	スズメノヤリ	実	7	コウゾ	実			
30	セイヨウタンポポ	花	8	サカキカズラ	花			
31	セリ	蕾	9	スイカズラ	花			
32	タチイヌノフグリ	花と実	10	スダジイ	咲き終わり			
33	チガヤ	花	11	ハゼノキ	花			
34	チチコグサ	実	12	ハチジョウキブシ	若い実			
35	ツメクサ	花						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、渡りの鳥「アカガシラサギ」にスポットを当ててみたいと思います。



アカガシラサギ

Ardeola bacchus

サギ科の鳥。旅鳥として日本に飛来し、沖縄では少数が越冬します。夏羽は頭部から胸までは赤褐色、背は青く、頭部に冠羽もあります。冬羽は頭部から胸部に褐色の縦斑があります。八丈島では春に夏羽、秋に冬羽の姿でほぼ毎年飛来します。2008年7月には夏羽から冬羽に変わる途中の個体も飛来しています。

2015 八丈ビジターセンター 6 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	○ 3	4	5	芒種 6 ガイドウォーク
	04:19 11:04 17:46 23:14	04:52 11:39 18:24 23:51	05:25 12:15 19:03	06:01 00:29 19:44 12:52	06:38 01:09 20:26 13:32	07:19 01:52 21:11 14:15
7 ガイドウォーク	8	9	● 10	11	12	13 ガイドウォーク
08:05 02:41 21:59 15:01	09:00 03:39 22:51 15:52	10:10 04:49 23:48 16:49	11:43 06:09 17:56	00:46 07:26 13:25 19:11	01:42 08:31 14:54 20:25	02:33 09:25 16:04 21:30
14 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	15	● 16	17	18	19	20 ガイドウォーク
03:21 10:13 17:00 22:26	04:05 10:57 17:48 23:14	04:46 11:38 18:31 23:57	05:26 12:17 19:10	06:04 00:36 19:47 12:54	06:40 01:13 20:21 13:30	07:16 01:49 20:54 14:04
21 ガイドウォーク	夏至 22	23	● 24	25	26	27 ガイドウォーク 八文学講座 「海浜植物観察会」
07:53 02:27 21:28 14:38	08:34 03:09 22:04 15:13	09:23 04:01 22:45 15:51	10:30 05:07 23:32 16:37	12:03 06:24 17:35	00:26 07:37 13:46 18:50	01:22 08:35 15:07 20:08
28 ガイドウォーク	29	30				
02:13 09:21 16:05 21:13	02:59 10:02 16:51 22:06	03:42 10:41 17:32 22:52	この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります			

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
6/14（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名

八文学講座 「海浜植物観察会」

毎月行っている八文学講座。底土海岸で海岸ならではの植物の観察会を行います。
6/27（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
底土海水浴場駐車場集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2015.6.1 第169号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

白いサギたちは夏羽（繁殖羽）の特徴がはっきりと出ていないと分かりづらいですね。八丈島に渡ってくる個体は繁殖に関わらないためか、しっかりと夏羽になっていないのでさらに分かりづらいかもしれません。たくさんいる今が見分けられるようになるチャンスです！（高）